

くまもと未来

質疑 1 火の国まつりのあり方について

火の国まつりは観光のためのまつりとなっているが、実際は市民参加型のまつりであり、事業目的と実体がずれている。今後、実施体制を含め、まつりの意義を再検証し方向性を明確にすべきである。

質疑 2 滞納金の処理について

人的資源の有効活用を図るために、回収が困難な滞納金などの債権に対する不納欠損(※5)処理の判断は適時行ってもらいたい。

質疑 3 財政について

財政状況は種々指標において一部改善傾向にあるが、市債等後年度負担による硬直化が依然として見受けられ自由度が低下している。本市貸借対照表については決算審査の資料として同時期での提出を求めたい。

市民連合

質疑 1 指定管理者制度の運用について

指定管理者制度(※2)運用にあたっては「多様化・複雑化する市民ニーズに的確に対応するために民間事業者の能力やノウハウを幅広く活用する」とする趣旨に重きをおき、コスト偏重主義に陥らないよう留意すべきである。

質疑 2 児童相談所の体制拡充について

膨大な数に上る児童虐待等相談の現状を踏まえ、過重労働によるメンタル不全に陥る職員を生まないように、児童心理士や福祉士などの専門職をはじめとする児童相談所の人員拡充・体制整備を求めたい。

公明党

質疑 1 市民病院の改築について

市民病院南館については、現地での改築に比べ工事期間中の患者数減少傾向が少ない新築移転についても検討対象としてはどうか。

質疑 2 学校図書館司書の拡充について

学校図書館司書業務補助員経費については、議会の要請から増額されたが、いまだ不足の感があるので予算の更なる拡充を求めたい。

質疑 3 新幹線開業イベントの実施について

大震災発生により延期となった新幹線開業イベントは、官民一体となった機運の盛り上げを維持する上でも着実に実施してほしい。

共産党

質疑 1 受診抑制に繋がる資格証明書の発行中止について

資格証明書の発行は病院窓口で医療費の全額負担が求められ、受診抑制に繋がると思われることから即時中止し、面接による丁寧な生活実態の把握や納付相談を行うべきと考える。

自由クラブ

質疑 1 植木町今藤工業団地について

合併直前に購入した植木町今藤工業団地2ヘクタールの整備については、城南工業団地においても未だ24ヘクタールが売れ残っている現状を踏まえ、十分な市場の動向調査を行いながら、中長期的な戦略を持って取り組むべきである。

～締めくくり総括質疑から～

補正予算及び関連議案・決算議案について、各会派から以下の主な項目について締めくくり総括質疑が実施されました。

- ・上下水道料金徴収新システム開発の遅延について
- ・合併3町における新市計画の事業見直しについて
- ・教育予算と現場職員体制の拡充について
- ・中心市街地活性化事業、駐輪場有料化について
- ・太陽光発電システム設置補助事業増額について
- ・植木町今藤工業団地整備および企業誘致について

※なお、予算決算委員会の模様は熊本市議会ホームページの議会中継(公式会議録発行までの間)及び委員会会議録よりご覧ください。



全議員参加による予算決算委員会の審査

平成23年第3回定例会提出議案の主な議決結果(会派)

議案番号・件名	会派別賛否							議決結果
	自民党	くまもと未来	市民連合	公明党	共産党	日本教育	自由ク	
議第164号 平成23年度熊本市一般会計補正予算	○	○	○	○	×	○	○	修正可決
議第170号 熊本市自転車駐車場条例の一部改正について	○	○	○	○	×	○	○	可決
議第197号 平成22年度熊本市各会計(公営企業会計を除く。)決算について	○	○	○	○	×	○	○	認定
議第204号 教育委員会委員の任命同意について(森徳和)	○	○	○	○	○	○	○	同意

可決された意見書・決議

発議第19号	学校施設の防災機能向上のための新たな制度創設を求める意見書について
発議第20号	大規模災害時に備えた公立学校教職員派遣制度の創設を求める意見書について
発議第21号	電力多消費型経済からの転換を求める意見書について
発議第22号	義務教育費国庫負担制度の拡充に関する意見書について
発議第23号	自治体クラウド(※6)の推進を求める意見書について

用語解説

※5 不納欠損

地方自治体の歳入決算において、すでに調定されている歳入が徴収しえなくなった場合に示される金額のこと。

※6 自治体クラウド

総務省が進める地方自治体の業務システムの効率化施策の一つ。地方自治体に共通する業務について、業務システムを複数の市区町村で共同利用できるようにするもの。